

アクション・プランを実現 するための提案

福 岡 県

福岡県のハローワーク移管特区（案）について

<特区提案の内容>

- 総合的な機能を備えた県内最大規模の「ハローワーク福岡中央」を県に移管し、ハローワーク業務が県の指揮・監督の下で行えることを立証する。
- ハローワーク福岡中央の附属機関の職業紹介機能を県の施策に活用することにより、県の若者、中高年、女性など年代別・対象者別の就職支援センターの強化及び雇用重点分野である福祉・介護、農業分野への人材移転を積極的に進める。
- モデル事業の効果を検証して、最終的な全面移管に向けて取組む。

<特区提案のねらい>

- 職業相談から職業紹介や労働相談等、国と県で類似の業務を行っていたものが利用者に身近な存在である県に一本化され、二重行政の解消によるコスト削減と県民の利便性向上が図られる。
- 主に国が行ってきた職業紹介・雇用助成と主に県が行っている人材育成や中小企業対策を一体化することで、雇用創出、人材移転、企業誘致などの促進を図り、地域の振興を推進することが出来る。

<全面移管に向けての取組>

(STEP 1) 県内最大規模のハローワーク移管 (3年間のモデル事業実施)

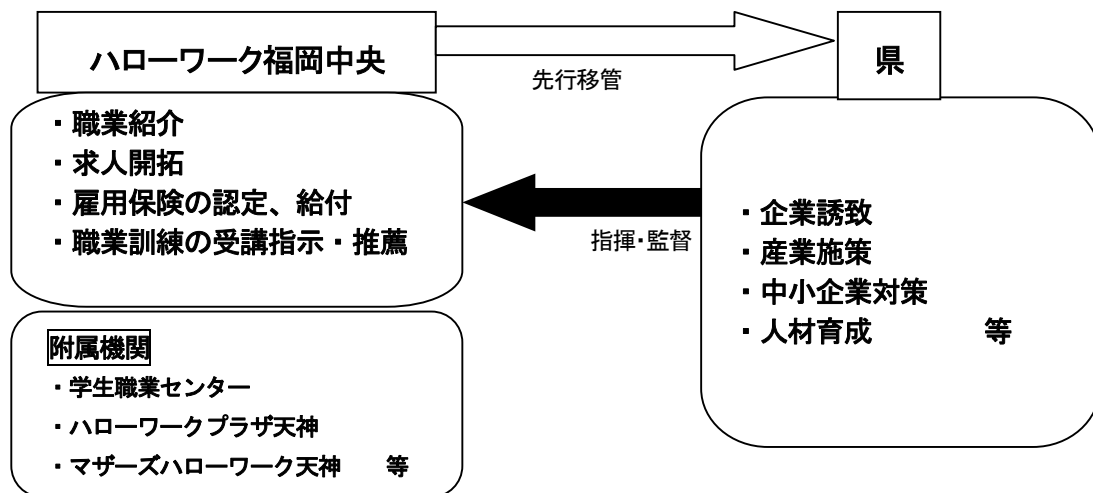
※ 人員・財源については、国が、これまでと同様の規模を措置

(STEP 2) 課題や効果を検証し、県に13ハローワークを全面移管

(STEP 3) 全国展開 (二重行政の廃止)

1 ハローワーク業務が県で実施出来ることを立証

県内14のハローワークのうち、総合的な機能を備えたハローワーク福岡中央を県に先行移管し、就業相談から職業紹介、職業訓練の相談、失業給付などすべてのハローワーク業務が地方で実施出来ることを立証する。



○ ハローワーク福岡中央の移管の効果

- ・ 総合的な機能を備えた最大規模のハローワークを県に先行移管し、その効果や問題点を検証することによって、他のハローワークの移管についても円滑に全面移管出来る。
- ・ 県の産業政策や中小企業対策と雇用施策が一体的に展開可能となり、効果的な事業を推進できる。

※ ハローワーク福岡中央の特徴

○ 県内最大規模のハローワーク

ハローワーク福岡中央が扱う求人数は福岡県内のハローワーク全体の34%、求職者数で21%となっている。

所在地：福岡市中央区赤坂1-6-19

(21年度のハローワーク福岡中央の有効求人数 17,066人、全体50,859人)

(21年度のハローワーク福岡中央の有効求職者数 26,814人、全体125,281人)

○ 総合的な機能を備えたハローワーク

- ・ ハローワークプラザ福岡、マザーズハローワーク天神、福岡学生職業センター、福岡人材銀行等の附属機関を有する。
- ・ 福祉や農林業への就職相談窓口の専用窓口を設置している。
- ・ 障害者や外国人のための就職相談窓口を設置している。

2 ハローワーク福岡中央の附属機関を活用した県の施策の推進

ハローワーク福岡中央を県に移管し、ハローワーク福岡中央の附属機関や福祉・農業の職業紹介機能を県が行っている雇用施策・産業施策に活用することにより、効果的な人材育成や雇用創出、人材移転を図る。

① 若者等（学生・未就職卒業生、フリーター等）の雇用の促進

（「ふくおかしごと館」創設）

エルガーラにあるハローワーク福岡中央の附属施設と県の若者支援施設を一体化するとともに、労働相談や子育て女性就職支援を行う福岡労働者支援事務所（福岡西総合庁舎）もエルガーラに移転・統合し、年齢別・対象別の就職相談・訓練・研修・面談会・職業紹介及び労働相談等を行う「ふくおかしごと館」を新たに創設する。

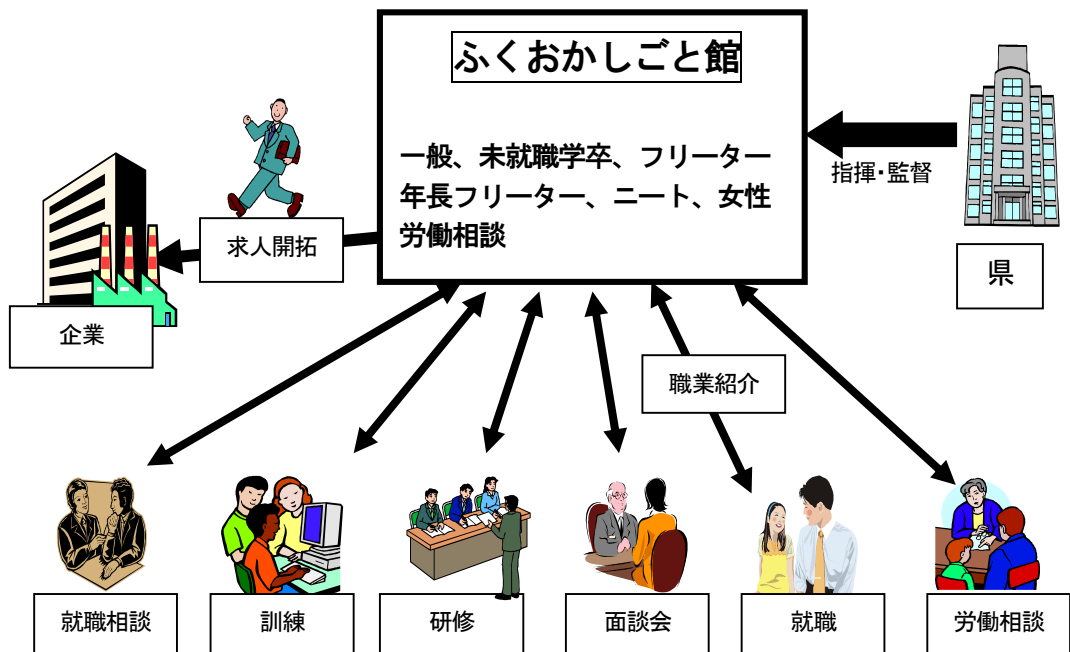
所在地：福岡市中央区天神1-4-2エルガーラオフィス12階

（ハローワーク福岡中央付属機関・ジョブカフェ等）

福岡市中央区赤坂1丁目8番8号福岡西総合庁舎5階

（福岡労働者支援事務所・子育て女性就職支援センター）

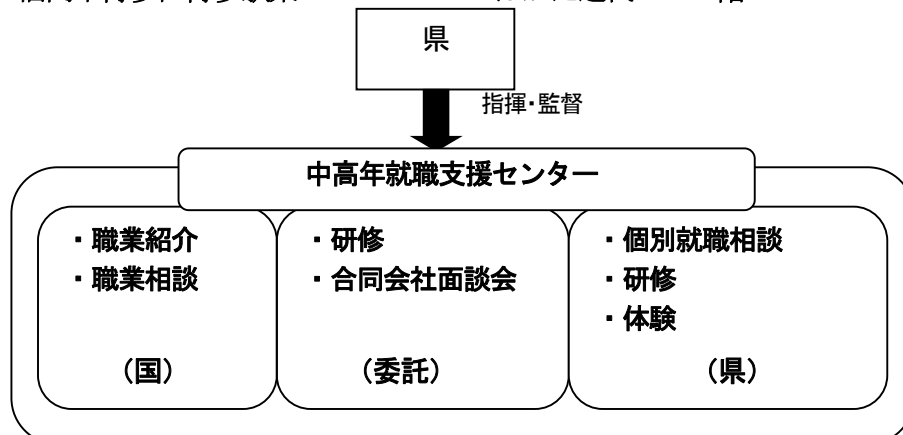
→ エルガーラ統合



② 中高年就職支援センターの県の指揮・監督による就職支援強化

平成21年4月に設置された国と県の共同就職支援施設である中高年就職支援センターについて、ハローワーク福岡中央を県に移管することに伴い、中高年就職支援センターのハローワーク部分（ハローワーク福岡中央の支所）についても、県による指揮・監督に一本化することで、効率的な業務運営の下、中高年の就職支援を強化する。

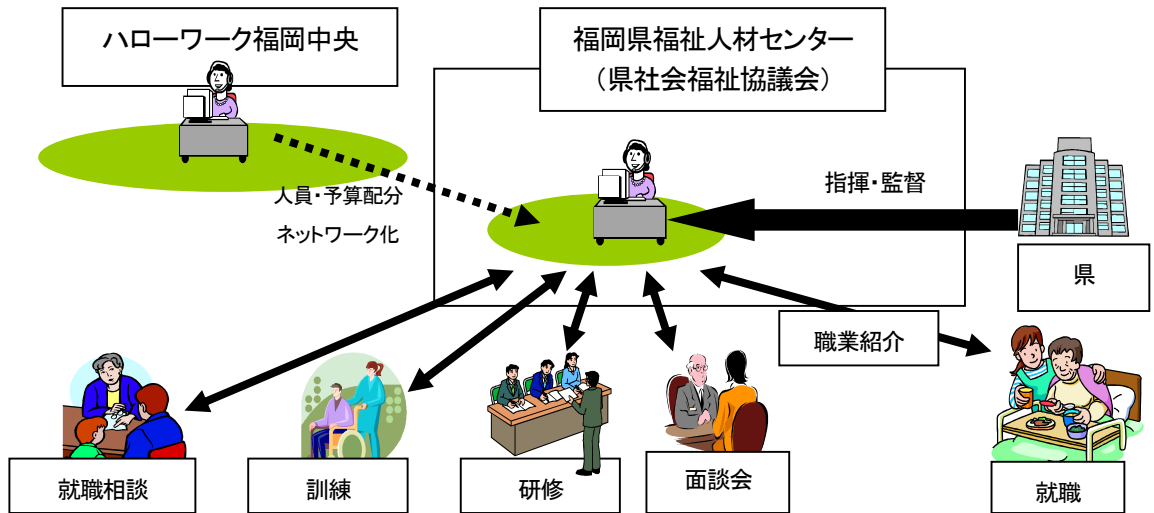
所在地：福岡市博多区博多駅東1-1-33 はかた近代ビル5階



③ 福祉・介護分野への人材移転の促進

福祉分野専門の職業紹介事業を行っている福岡県福祉人材センター（県社会福祉協議会）に、ハローワーク福岡中央にある福祉人材コーナーの職業紹介機能を付加し、福祉・介護分野の職業相談、研修、職業紹介をワンストップで行うことにより、利用者の利便性を図るとともに人材移転を促進する。

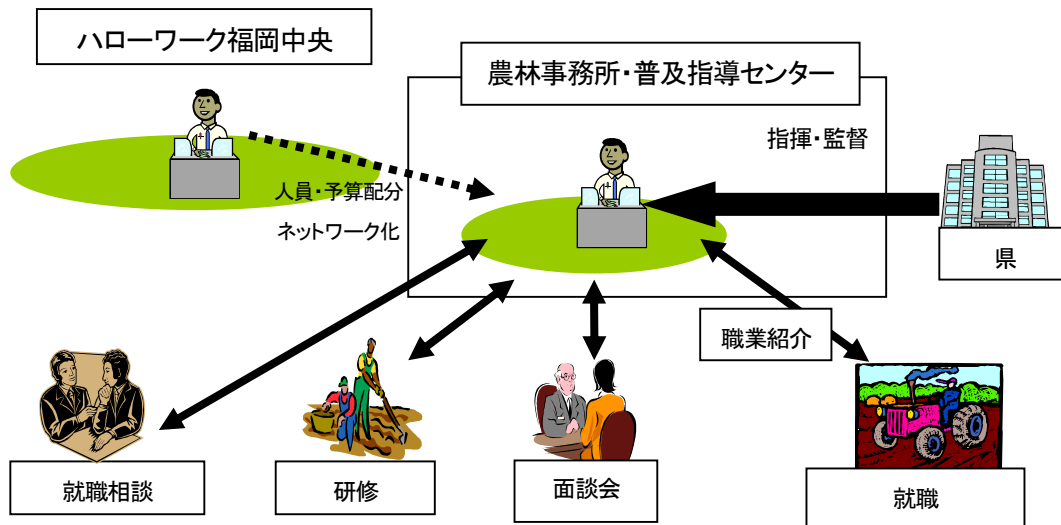
所在地：春日市原町3丁目1番7号 クローバープラザ2階
（福岡県福祉人材センター）



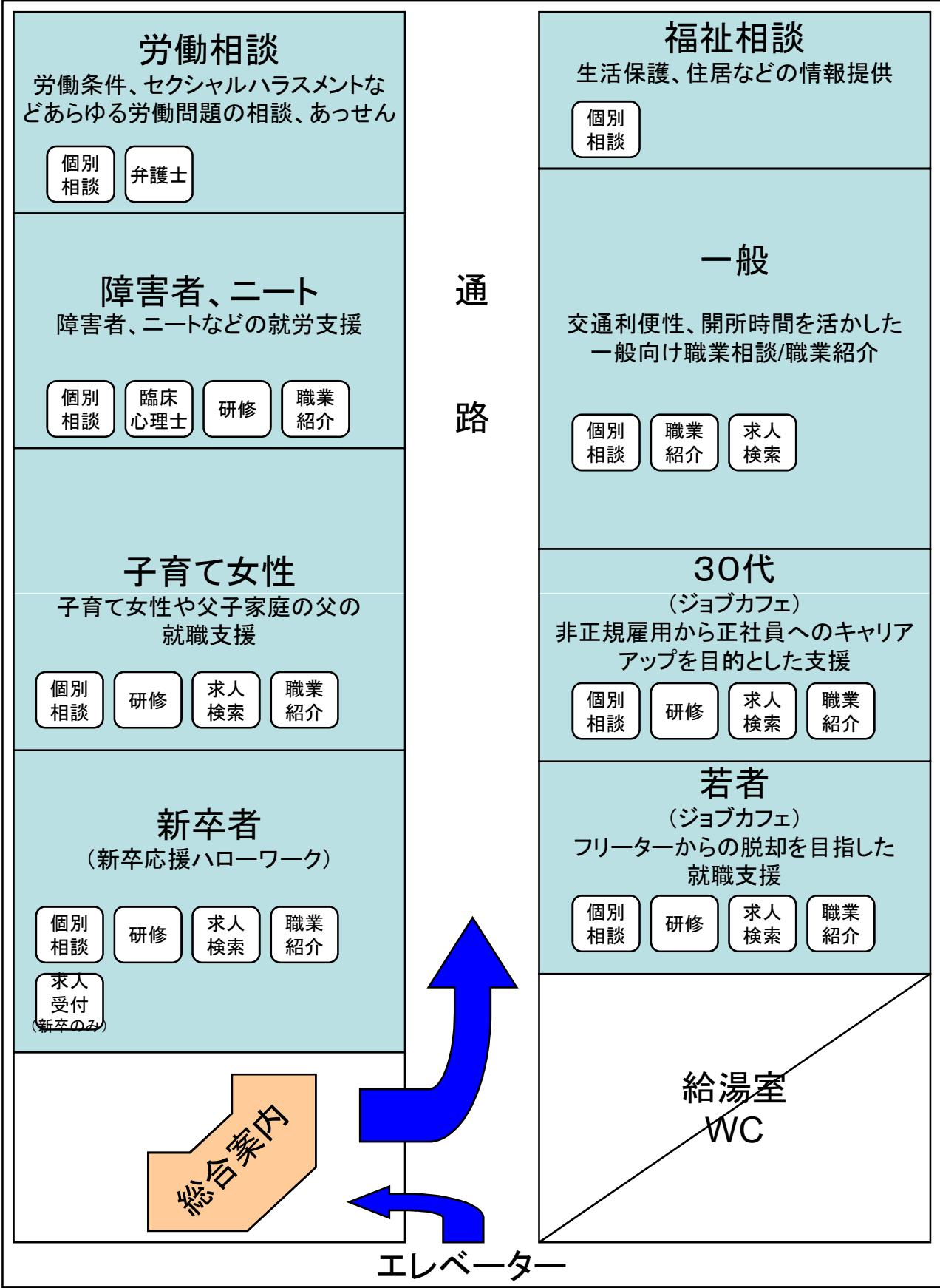
④ 農業分野への人材移転の促進

農業専門職員が就農相談に応じている福岡農林事務所（福岡普及指導センター・北筑前普及指導センター）に、ハローワーク福岡中央にある農林業就業相談コーナーの職業紹介機能を付加し、農業分野の職業相談、研修、職業紹介をワンストップで行うことにより、利用者の利便性の向上を図るとともに人材移転を促進する。

所在地：福岡農林事務所 福岡市中央区赤坂1丁目8番8号 福岡西総合庁舎
福岡普及指導センター 福岡市西区大字飯氏902番1
北筑前普及指導センター 福津市西福間4丁目2番地1号



ふくおかしごと館 レイアウト案



追加提案の内容

1 追加提案の趣旨

福岡県では、離職期間が長期化する傾向にある中高年齢者の早期再就職を支援するため、「福岡県中高年就職支援センター」（以下「中高年センター」という。）において、キャリアコンサルタントによる個別相談、就職活動スキルを身に付けるためのセミナー、マンション管理やテレコミュニケーター等の専門研修等を実施している。また、国のふるさとハローワーク事業の枠組みを活用し、中高年センターにハローワークと同様の求人検索が可能な端末機を設置して、職業相談員による職業紹介を実施している。

これらの取組みは一定の成果を上げているものの、雇用情勢は依然として厳しく、中高年齢者の早期再就職の更なる促進は喫緊の課題である。また、国のふるさとハローワーク事業は、平成 23 年度をもって廃止される。

加えて、平成 24 年度には、中高年センターと同一フロアに「福岡県 70 歳現役応援センター」（以下「70 歳センター」という。）を開設する予定であり、今後、就職を希望する方の利用も見込まれる。

これらを踏まえ、今後、中高年センターの就職支援機能をより一層強化するとともに、70 歳センター利用者のニーズに対応できるようにするため、福岡県が平成 23 年 3 月に提出した「アクション・プランを実現するための提案」（※）に基づき、その具体化に向け、必要な事項を実施することを追加提案する。

※ 福岡県が平成 23 年 3 月に提出した提案の内容

- ・ ハローワーク福岡中央を県に移管する。
- ・ ハローワーク福岡中央の附属機関の職業紹介機能を県の施策に活用することにより、年代別・対象者別の就職支援センターの強化及び福祉・介護、農業分野への人材移転を積極的に進める。
- ・ 事業の効果を検証して、最終的な全面移管に向けて取り組む。

2 追加提案の具体的内容

(1) 職業紹介機能の付加及び充実強化

中高年センターにおける求人検索機及び職業相談員の利用ニーズは高く、現在、待ち時間が発生する等の課題が生じているうえ、70 歳センターの開設により更にニーズが高まることが予想される。

このため、中高年センター又は 70 歳センターに求人検索機 2 台を増設するとともに、職業相談員を 2 名増員する。

なお、現在、中高年センターには、個々の職業相談員を統括する立場にある方は配置されておらず、苦情処理が円滑に行われぬ等の課題があることから、増員する職業相談員のうち 1 名は、主任相談員とする。

(2) 中高年センターの利用者向け求人開拓等の実施

中高年齢者には、前職の労働条件や職種にこだわりがあることが多く、一方で、条件等にあった求人が少ない中で、離職期間が長期化する傾向にある。

このため、個別相談や中高年齢者の就職が見込まれる分野の専門研修の実施を通じ、未経験分野への就職を促進しているところである。

しかしながら、これらの取組みによっても、なお就職が決まらない中高年齢者も少なくないことから、中高年センターの利用者向けの求人開拓等を新たに実施することにより、中高年齢者の就職支援を更に強化する。

ア 個別求人開拓の実施

中高年センターのハローワーク部門に求人開拓推進員（個別求人開拓担当）1名を新規に配置し、熱心に求職活動を行っているにも関わらず、希望条件に合った求人が見つけれない中高年齢者を対象に個別求人開拓を実施する。

県においては、対象者の経歴や長所等を整理するなど個別求人開拓に向けたキャリアの棚卸し支援を新たに実施する。

イ 中高年齢者を対象とする合同会社面談会等への参加企業の開拓

中高年齢者を対象とする合同会社面談会向けの求人開拓を専ら担当する求人開拓推進員（中高年センター担当）2名を配置する。

(3) 「心の健康相談」の実施

中高年センターの利用者の中には、失業状態に直面したことによる不安など、心の健康問題を抱える求職者も少なくない。

しかしながら、現在、中高年センターのキャリアコンサルタント及び職業相談員には専門的な知識がなく、対応が困難となっている。

このため、中高年センターにおいて、週1回程度、精神保健福祉士または臨床心理士による巡回相談を実施し、医療機関への取り次ぎなど適切な対応を行う。

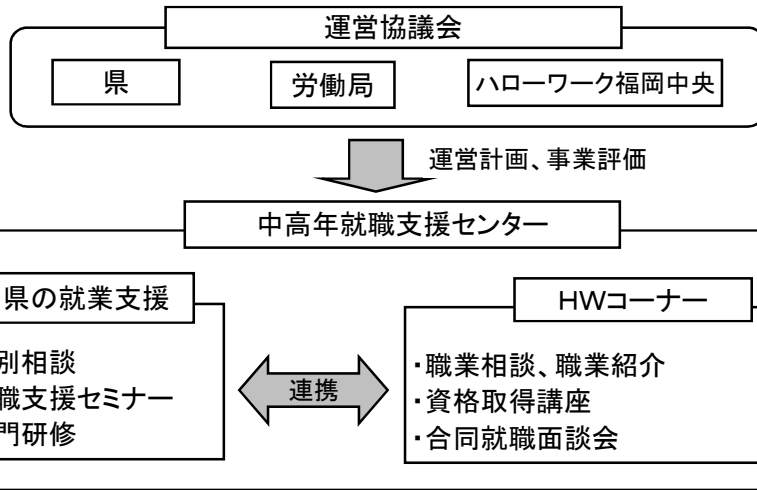
3 備考

(1) 2の内容については、実施可能なものから順次実施することとし、従来から実施している就職支援施策については、引き続き実施する。

(2) 福岡県、福岡労働局、ハローワーク福岡中央等で構成する「運営協議会」を設置し、センターの運営方法の詳細を決定するとともに、同協議会を定期的に開催し、事業の進捗管理及び改善に向けた検討を行う。

「一体的実施」に係るイメージ

【現状】ふるさとハローワーク(都道府県連携型)



《課題》

- 厳しい雇用情勢及び70歳センターの開設を踏まえ、職業紹介機能の付加・充実強化が必要。
- 利用者の希望条件に合った求人確保が必要。
- 心の健康問題を抱える求職者への対応が必要。

機能強化

【提案】中高年就職支援センターの一体的実施

